

意見・質問の共有

第12回 障害者の情報・コミュニケーションに関する協議会

資料1 令和元年度 情報・コミュニケーション条例に基づく事業報告について	
意見・質問	事務局より
質問：計画にウが未実施となっておりますが、報告には、意思伝達装置、スマートフォンの情報共有とあります。令和2年度も再度コミュニケーション支援ツールの情報提供、情報交換を行う計画であったのでしょうか。	情報取得及び情報コミュニケーションの支援のための機器の情報収集、利用普及については、この協議会を通じて行うこととしております。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、開催ができませんでした。次年度以降の課題と捉えています。
出前トーク依頼なしはとても残念です。 依頼がないとできないのですか？行政側からアプローチはできないのですか？	出前トークは、市民の求めるテーマに沿って、説明を行うものです。まずは、関心を持っていただくことが重要で、様々な分野の方が協力して障害者理解を広げていく必要があると思います。
資料2 令和2年度 情報・コミュニケーション条例に基づく事業計画について	
意見・質問	事務局より
新型コロナウイルス感染症により、各支援者（ボランティアも含む）の養成が難しいのは仕方ないと思っておりますが、新型コロナウイルス感染症がおちついた後に、以前のように再び希望者がいるのか、担い手の減少が気になります。	市が主催する手話講習会は毎年多くの方にご参加いただいております。多くの市民の方々に、まず、手話等に関心を持っていただくことが重要だと思います。
一般主催の講演会等での案内に、手話通訳等の必要な方への問い掛けをするよう啓発を入れること。	誰を対象にどのように啓発をしていくかを様々な視点から検討する必要があります。
出前トーク2回実施するとありました。 高校生のみならず、幼稚園児も障害をもった子のお世話をします。 是非小さな頃から障害がある方への理解のお話をしてもらいたいと思います。インクルージョンをさらに深められるように。	御意見の通り、小さな頃から障害のある方への理解は重要と考えます。出前トークは、市民の求めるテーマに沿って、説明を行うものです。まずは、関心を持っていただくことが重要で、様々な分野の方が協力して障害者理解を広げていく必要があると思います。

資料3 災害時ガイドブックテキスト案3	
意見・質問	事務局より
多岐にわたる障害の有様から、適切で適格です。	さらに検討を加え、よりより冊子としたいと思います。
P3 1行目の「一次～避難所のことです」を2文程に分割し読み易く。	「一次福祉避難所は、大規模地震等が発生した時に、震災時の避難所となる小中学校体育館等に設置される福祉スペースです。集団での避難生活が困難となる高齢者、障害者、妊婦、乳幼児等のうち、特別な配慮を必要とする方々を、教室や多目的室などで一時的に受け入れます。」としました。
P4 真ん中あたり →2行目――指示で歩くのは怖いです。とここだけ、当事者の言葉です。――指示で歩くのは怖いとの声があります。又は、怖いそうです。ではどうでしょうか	御指摘のとおり修正します。
P5 3行目 手話を言語として使っている方(ろう者)の中には、ですが、手話は言語なので引かかります。	『障害のある人を理解するためのガイドブック』P6本文5行目を参考に、「手話を言語として」→「手話を第一言語として日常的に」に修正します。
P5 6行目 筆談や口の動きなどの視覚情報が、コミュニケーション手段です。とありますが、手話を使う人がいないようにも取れる表現です。生まれつき聞こえない方でも筆談するし。上記2点は、当事者のご指摘はないようなので、感じたことを書きました。	すべての聴覚障害者が手話を利用するわけではなく、また、この文書は、避難所等において”一般の方”が障害者の対応を行うことを前提に記載しているため、この部分では、あえて「手話」を入れていません。まず、「視覚情報が重要」ということを説明し、後半の文書で視覚情報の具体例として「手話」を入れていきます。
P5 下から2行目の放送があったことに気付けません、上記一斉放送やと同じなので削除し→大切な情報や予定は、――は、そのまま上段につなげて良いと思います。	関係団体への意見聴取後ですので、他の委員の方からもご意見をいただきながら、どのような表現ができるか検討します。
5ページ聴覚障害について ①災害時の困りごと「後ろから…」の文章2行を「声で呼ばれてもわかりません→対面で伝えてください」に変更 ②下から10～7行目の文章をまとめて、「防災無線や緊急放送、また避難所での一斉放送や呼びかけでの音声情報では全く伝わりません。」に変更。 ③下から6行目の上に「→音声情報には同時に視覚情報(ホワイトボードに掲示等)を提示してください。」を追加。 ④最終行→「放送の内容は、メモに書いて渡したり掲示をしてください。」に訂正。 ※④は③と重複している部分でもあるので、要検討。	関係団体への意見聴取後ですので、他の委員の方からもご意見をいただきながら、どのような表現ができるか検討します。
P6 一番下→きちんと話を理解することができます。ですが、理解できない方もおられるのでは。ゆっくり話を聞いて、その方に合わせた方法で話をさせていただくと、きちんと話を理解できます。ではどうでしょうか。	関係団体への意見聴取後ですので、他の委員の方からもご意見をいただきながら、どのような表現ができるか検討します。
6ページ肢体不自由、下から4行目の「場所」→「スペース」に変更したらどうでしょう。	関係団体への意見聴取後ですので、他の委員の方からもご意見をいただきながら、どのような表現ができるか検討します。
P7 一番下から2行目 トイレに行くのに迷ってしまう事があります。ですが、いつも行っているトイレでも迷ってしまうことがあります。ではどうでしょうか。	関係団体への意見聴取後ですので、他の委員の方からもご意見をいただきながら、どのような表現ができるか検討します。
P8 囲いが低いと安心できない→安心できません。 災害時に配給される食料が食べられないです。→食べられない方がいます。 …ストーマ装具が足りなくなってしまう。→しまいます。 他のページと前後の表記が合わないので変更しました。 障害者“だから”配慮してほしいではなく、“わかりやすく伝える”“車いすが通れる通路を確保する”などのことは、障害の有無に関わらず過ごしやすい、わかりやすいです。 その辺りが強調されると、理解につながる、特別扱いしなくてもよいということが、わかってもらえるのかと思いました。	前半：前後の文言から、ご指摘のように修正します。 後半：他の委員の方からもご意見をいただきながら、どのような表現ができるか検討します。

<p>P 8 真ん中当たり 着替えなどの時に、装具を見られたくないが、囲いが低くて安心できない。安心できないは、安心できません。ではどうでしょうか。</p>	<p>前後の文言から、ご指摘のように修正します。</p>
<p>P 1 2 一番下の行 かかりつけ医に相談してください。は、かかりつけ医に相談できない時にどうするかです。他の医療機関か地域医療救護所か応急二次病院に相談するかだと思いますが、危機管理課等に確認してください。大事なことなので、お願いします。 かかりつけ医に相談するか、または〇〇に相談してください。 にしてほしいです。</p>	<p>複数の委員からご意見をいただきましたので「具合が悪そうな方、医療が必要そうに見える方については、かかりつけ医に相談をするか、巡回してきた保健師にお知らせください。」に変更します。</p>
<p>12ページの難病の最終行、ヒアリング結果にもあったように「かかりつけ医に…」の文章は適切ではないと思います。</p>	<p>複数の委員からご意見をいただきましたので「具合が悪そうな方、医療が必要そうに見える方については、かかりつけ医に相談をするか、巡回してきた保健師にお知らせください。」に変更します。</p>
<p>その他の意見・質問・提案など</p>	
<p>意見・質問</p>	<p>事務局より</p>
<p>①フリガナがあればよいと思います。 ②文頭に印があれば文章を読み易い。 ③支援を必要とする人が付けるヘルプマークを見る機会が多くなりました。周知と啓発の観点から掲示していただきたい。</p>	<p>フリガナ・文頭に印を付けることによって、全ての方が読みやすくなるかは、事務局での判断が難しいため、次回の協議会で検討したいと思います。ヘルプマークについては、全体の中で検討していきます。</p>
<p>事業計画に関連 一般市民への手話通訳等の手配が必要な事と、手配の仕方の啓発はどこで行うのか。</p>	<p>基本的に市が行うべきと考えていますが、積極的な広報について関係機関と協議の上、今後どのような周知ができるか検討いたします。</p>
<p>またよりよい協議会ができればと思います。</p>	<p>事務局も同様に考えています。</p>
<p>令和3年度は通常通り年2回程度の実施が実現できるようにしたほうが良い。（オンラインでの協議会・様々な支援者養成事業実施を検討してはどうか？）</p>	<p>どのような形で開催できるか、委員の皆様と検討が必要と考えています。</p>
<p>コロナ禍で集合した形での委員会開催ができない中、今回、書面開催になったことはやむを得ないことだと思います。一方で、デジタルツールを用いたオンラインでの開催も決して不可能ではないと思います。本協議会の開催方法について、ご検討のうえで書面開催になったのでしょうか。 もちろん、かならずしもデバイスやデジタルスキルが十分な方ばかりではないことは承知しています（デバイスの支給やサポートを受けられる私は恵まれていることは理解しています）。一方で、障害者の方々がコロナ禍でさまざまな試行錯誤を経て、zoomでやり取りしていることなども事実です。オンラインのやり取りだと、情報のやり取りをかえってしやすい場合があります（音声を自動的に文字起こしすることも無料で可能です）。2021年度の開催も様子を見ながらになると思いますし、各委員のデジタル環境などを踏まえる必要がありますが、オンラインでの開催が可能かどうか、ぜひご検討いただければと思います。</p>	<p>どのような形で開催できるか、委員の皆様と検討が必要と考えています。</p>